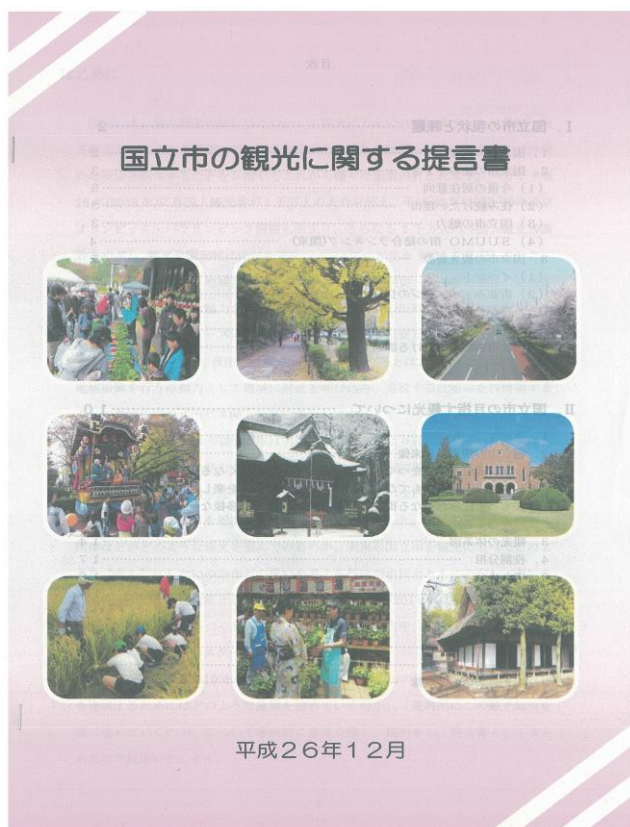


「TOKYO SALON

出会いを楽しむ街 くにたち」

(観光から生まれるまちづくり)



平成 27 年 4 月初版作成

1. はじめに

(1) まずはお礼から

わくわく塾は、財政や税金の話し、防災対策や高齢者福祉、ゴミ問題、悪徳商法対策、都市景観や下水道、まちづくり、交通事故防止に学校の話などなど、全部で62講座があります。

その中でも、タイトルだけではまったく内容がわからないであろう講座「TOKYO SALON 出会いを楽しむ街 くにたち」をご指名いただき誠にありがとうございます。この講座は、国立市産業振興課商工観光係の職員が担当させていただきます。

(2) 商工観光係とは、どんな係？

国立市では、平成25年4月に大幅な組織改正を行い、労政全般（勤労者福祉や就労支援）・商工振興施策全般・中小企業へのあっせん融資・起業支援・市民まつりやさくらフェスティバルなどを担当する商工係と企業誘致・清化園跡地活用・地域プロモーションサイト運営などを担当する地域振興担当を併せて、新たに観光施策も担当する係として、産業振興課内に商工観光係が係長1名・係員2名・嘱託員2名体制で創設されました。

2. 国立市観光懇談会の活動について

国立市が観光施策を展開するにあたり、国立市が目指す観光の目標や目的など観光施策のあり方について、一般の市民の方や学生、商店主、地域の団体（観光まちづくり協会・商工会等）の方々が様々な視点で意見交換を行う場として、15名の委員と専門のアドバイザー1名で「観光懇談会」を結成し、8ヶ月にわたり活動した結果として、平成26年12月に「国立市の観光に関する提言書」を市長へ提出していただきました。

3. 「TOKYO SALON 出会いを楽しむ街 くにたち」

この国立市観光懇談会が作成した「国立市の観光に関する提言書」で、国立市の目指す観光のテーマとして提言したのが「TOKYO SALON 出会いを楽しむ街 くにたち」です。

(国立市の観光に関する提言書より)

このテーマの選定理由は…

平成32年(2020年)の東京オリンピック・パラリンピックなどを見据え、国内だけでなく海外からの視点も踏まえ表現したテーマです。

古くは甲州街道を中心とした農業や養蚕を通じた交易の場として、そして学園都市として文化人や芸術家、多様な人々の交流の場として栄えてきた国立が、世界から見てもTOKYOの中にある(※)SALONのように人々を惹きつけ、交流の場として魅力のある持続可能な街を目指します。

また、人との出会い、食との出会い、一生モノとの出会い、芸術との出会い、居場所との出会い、初めての体験との出会い、歴史との出会い、音楽との出会い、未知なる自分との出会いなど国立という場所を活かした様々な出会いを紡ぎ、住民同士や住民と観光客との間から生まれる新しい気づきによって生涯を通して学びが得られる新型体験観光シティをめざしていくものです。

※SALONとは…

- ①客室。応接間。また、ホテル・客船などの広間・談話室。サルーン。
- ②フランスなどの上流婦人が客間で催す社交的集会。また、学者や芸術家などの社交的な集まり。
- ③(フランス - アカデミーの美術展がルーヴル宮殿内のサロン - カレで開かれたことから)美術展覧会。

広辞苑第六版より抜粋

ここで、ようやくですが、講座名の由来をご紹介します。

4. 国立市の観光の将来像

国立市観光懇談会の提言では、国立市の魅力は様々なイベントであり、美しい街並みであり、自然であり、文化です。これらに人々が関わり、融合し、連携し合って『ひと』『モノ』という資源を活かす取組みを進め、「住んでよし・訪れてよし」の街を目指すとしています。

さらに、その中で『TOKYO SALON 出会いを楽しむ街 くにたち』というテーマをもとに国立市の観光施策として具体的に実施していくためのサブテーマ（国立らしい観光）を3点挙げています。

①「学び賢くなる場をつくる」（来訪者とともに学び賢くなる）

教育環境に恵まれていることから国立市には、市立・都立の学校をはじめ一橋大学、東京女子体育大学、国立音楽大学附属小・中・高等学校、桐朋学園、国立学園などの教育施設や各種専門学校、カルチャースクールが数多くあります。

そして南部には、湧水や府中用水が流れ、田園風景が残っています。土や水の感触を感じることができ、都会では味わえない自然が、すぐ手の届くところに点在しています。「国立市古民家」は、見学だけでなく、昔ながらの年中行事や竹細工教室等も行われ、昔の素朴な生活がしのばれる楽しい体験ができます。

さらに平成 27 年(2015 年)春にオープンした「城山さとのいえ」では、農の里にまつわる様々なイベントや農業体験などが行われています。

これらの中で「学び」という観点から国立市の観光につなげていきます。

②「住民みんなでおもてなし」（来訪者ととともに暮らしを楽しむ）

提言書では、「国内はもちろん、平成 32 年(2020 年)の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、訪日外国人に向けて、観光情報の発信や Wi-Fi の整備、宿泊施設をつくることなど、来訪者にまた訪れたいと思われるおもてなしを行います。またその中で、住民にとっても暮らしやすい街をつくっていきます。」と具体的に踏み込んだ提案が挙げられています。

③「もっと住みたくなる街をつくる」（来訪者とともに多様なライフスタイルをつくる）

国立市は、美しい街並み、自然、イベント、おしゃれで個性的な店など、様々な要素がコンパクトな街の中に詰まっており、その中で、個性やライ

フスタイルを選べるということが魅力です。

5. 国立市の観光の施策とアクションプラン

国立市観光懇談会の提言では、サブテーマ（国立らしい観光）3点をもとに、11の施策と41のアクションプランを提案しています。施策とアクションプランについての具体的な説明は省きますが、市では、この内容のうち実施可能なものから、実現に向けて関係機関との調整を行っています。

また、国立市中小企業等振興会議でも、提言の内容をもとに国立市の中小企業の活性化に資する施策について、検討を行っているところです。

6. 観光から生まれるまちづくり

(1) 国立市が実際に行っている観光施策

①シティプロモーションサイトの運営

平成25年4月から、新たに観光という視点からまちの魅力ある「お店・商品・場所・ひと・風景」などの情報を発信するツールとして、SNSなど新たなコンテンツを導入し、柔軟なサイト運営により魅力ある情報サイトを目指すため、市のプロモーションサイト「ビジテ！国立」を、国立市観光まちづくり協会の「くにたちインデックス」と統合し、国立市観光まちづくり協会へ運営を委託しています。<http://kunimachi.jp>

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
アクセス数	303,167	345,337	529,878

②フィルムコミッション事業

国立市のシティプロモーションの一環として、映像制作会社等が行うロケーション活動を支援するため、国立市観光まちづくり協会へ委託し、平成26年2月1日から平成27年1月31日までの期間で、国立市の魅力やロケーシ

ョン撮影の可能な民間施設の開拓、映像制作会社等向けのホームページ、パンフレット、国立市内のプロモーションビデオの作成など、国立市フィルムコミッションの立ち上げ事業を行いました。

立ち上げ後も、引き続きフィルムコミッション事業の運営を、国立市観光まちづくり協会委託しています。また、市の施設に関しては商工観光係で対応しています。<https://kfc.tokyo>

フィルムコミッション事業の実績

	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度 (11/16 現在)	
問合せ件数(民間含む総数)	91 件		129 件		210 件	
実施件数(民間含む総数)	20 件		28 件		29 件	
市の行政財産使用料	3 件	143,206 円	16 件	826,400 円	8 件	458,400 円
(内:市役所庁舎撮影)	1 件	68,800 円	2 件	137,600 円	3 件	206,400 円

具体的な撮影実績

25 年度



2013. 12. 1 @第六小学校
【番組名】 リーガルハイ
【放送局】 フジテレビ
【出演】 堺雅人 新垣結衣



2013. 12. 13 @久保公会堂
【番組名】 戦力外捜査官
【放送局】 日本テレビ
【出演】 武井咲・TAKAHIRO

26 年度



2014. 6. 1 @庁舎 1 階
【番組名】 警視庁捜査一課 9 係
【放送局】 テレビ朝日
【出演】 渡瀬恒彦 井ノ原快彦



2014. 10. 10 @谷保第一公園
【番組名】 予告犯
【番組名】 劇場版 映画
【出演】 生田斗真



2014. 11. 17 @ガーデン国立
【番組名】 ママとパパが生きる理由
【放送局】 TBS 系
【出演】 吹石一恵、青木崇高



2014. 12. 7 @第六小学校

27 年度



2015. 5. 18 @国立ダイヤ街商店会
【番組名】 HEAT
【放送局】 フジテレビ
【出演】 AKIRA・栗山千明



2015. 8. 15 @庁舎 3 階会議室
【番組名】 探偵の探偵
【放送局】 フジテレビ
【出演】 北川景子・川口春奈

③イベント情報の収集・発信

市内のイベント情報を、商工観光係で集約して「国立市イベント一覧」として市のホームページなどへ掲示しています。また、東京都や国の観光サイトへの情報提供や雑誌やテレビからの取材についても適宜対応しています。

④国立市観光まちづくり協会との連携

特定非営利法人「国立市観光まちづくり協会」の主催する各種事業（まち歩き：ガイドウォーク・写真コンテスト・ひまわりプロジェクト等）に対する支援事業を行っています。

⑤イベントの支援

春のさくらフェスティバル・LINK くにたち・朝顔市・秋の市民まつり・天下市・農業まつりなどのイベントに対する財政や人的側面からの支援を行い、市内に賑わいを創造し来街者の増加を図っています。

(2) 観光から生まれるまちづくり

そもそもの観光の意味合いは、観光＝(guest)「国の光を観る」であり、(host)「国の光を観せる」国の光＝暮らしぶり：暮らしぶりを見せることによって誇りを持ちたいということです。しかし観光の意味合いは変化していきました。日本では1974年に100万人が結婚し、その内の半数が新婚旅行で宮崎県に行きました。これが、観光のはしりであり、当時の旅行会社などの施策によって、いいホテル、いい食事、いい施設をつくることが観光の3大要素となりました。

しかし、経済状況が変化するなかで、価値観が変化し、いい施設、いい食事、いい旅館はあきられ、食事については、豪華さより、地域の食材を使ったものが求められるようになりました。つまり、非日常から異日常を求めるようになり、「国の光を観る」という本来の観光に戻ってきたのです。

暮らしぶりは、住民が住みやすい、または住みやすくなりたいというところ

ろに、お客様＝来街者も来ていただける。お客様が来る家は、玄関、居間等を綺麗にしており、お客様が来ない家は、部屋が汚い。つまりお客様が来るということは、実は住みやすいことを自慢することと同時に、お客様に見せながら、話を聞くことによって、こうした方が良いということに気がつかされることです。住民が住みやすいと思っているところに、今のお客様＝来街者は目を向けるようになってきたといえます。

つまり、観光は暮らしぶりであり、住みやすいと思っているところに実は訪れたいくなる＝住んでよし、訪れてよしということです。地域の課題についても永年地元に住んでいると問題を指摘しにくいですが、よそ者＝来街者は「おかしい」と言うことができます。そのため、よその人と交流することによって、住みやすいかどうかが本格的に見えてきます。よその人と交流することで、国立市の住みやすさが更に増し、その効果で商店街が元気になり、高齢者も元気になり、住みやすさがより一層増してくるという、プラスのスパイラルが形成されることが、「観光から生まれるまちづくり」の意味するところでは。

観光懇談会が提言した「サブテーマ（国立らしい観光）」では、

- ①「学び賢くなる場をつくる」（来訪者とともに学び賢くなる）
- ②「住民みんなでおもてなし」（来訪者とともに暮らしを楽しむ）
- ③「もっと住みたくなる街をつくる」（来訪者とともに多様なライフスタイルをつくる）

とあるとおり、国立市の目指す観光とは、住民の方が主体となって学び、もてなし、もっと住みたくなることです。

まずは、住んでいる「まち」に愛着と誇りを持つことから、まちづくりは始まりますので、ご協力をぜひよろしくお願いいたします。（例えば、花を飾る・掃除をする・挨拶をするなど、身近なところから・・・）

7. 番外

「観光」についての講座なのに、国立市の観光スポットなどの説明がないの？
と言うご意見の方もいらっしゃるかと思いますので、ご存知な方も大勢いらっし

やると思いますが、一般的な市内にある施設などで、市内を散策する際のランドマークにさせていただきそうなものを一部紹介させていただきます。

「東京都のへそ」の石（北第一公園）

「大学通り」（新東京百景）

「府中用水」（全国疎水百選）

「ママ下湧水」（東京の名湧水 57 選）

「城山」（東京都の保全地域に指定）

「谷保天満宮」

「一橋大学」（兼松講堂等）

「滝乃川学園」

「くにたち郷土文化館」

「古民家」

「湯楽の里国立店」（市内の天然温泉）

市内を散策する参考に・・・

「みんなでくにたちを歩こう健康ウォーキングマップ」（健康増進課事業係作成）

No.1 北の街 市境散歩

No.2 一橋と大学通り 大学町の魅力再発見

No.3 谷保一番地コース はけの道に沿って

No.4 矢川の清流とママ下湧水が出会う道

No.5 谷保地区に中世の歴史を訪ねて

No.6 東の市境散歩 くにたちの街が一望できる

No.7 江戸街道からさくら通りへ 花と公園を巡りながら

No.8 谷保田園の原風景を探して（国立南部地域）

No.9 多摩川の風に吹かれて

平成 27 年 4 月初版作成
平成 27 年 11 月改訂

制 作

〒186-8501 国立市富士見台 2-47-1

国立市役所 産業振興課 商工観光係

電話 042-576-2111 内線 345・348

FAX 042-571-1525